

Berlin Report

May 2020

CONTENTS

- * Project 1: Die Vitrine / Tableware equipment hire
- * Project 2: GOLVET / Restaurant & Bar

1. Die Vitrine

Project Overview

「陳列棚」という名前を冠するここは、ヴィンテージの食器を貸し出すレンタルサービスの店。大通りに面した大きなガラス窓を生かしてその前にテーブルを置き、近くの広場で開催されている人気の市場の開催日に合わせて毎週水曜日、新しいテーブルコーディネートを設定する。

5,000 枚以上にのぼる膨大な丸皿、約 3,000 のグラス..... 器収集の趣味が高じてこの店を開いたというオーナーが、店のインテリアとして思い描いたのは大きなマホガニーの食器棚。通りに面した窓に向かう壁一面を作り付けの食器棚のようにデザインした。中央には奥の倉庫兼オフィススペースに続くドアが同じ素材で棚に模して作られている。オーナーのジャン・フィリップ氏が大好きなアールヌーヴォー様式をイメージしたデザインだ。

店内の壁はシックな、グレーがかった渋いグリーンに塗られている。陶磁器の澄んだ白が映えるモダンな色だ。食器自体は 19 世紀～1970 年代のもので、フランスが半数、ドイツ、イタリア、イギリスなどの食器が揃う。好きな人々と美味しい食事を楽しむための食卓をさらに楽しくするための食器。パーティやイベントでのレンタルが主だが、もちろんプライベートな食卓にも。これまでもっとも思い出深い仕事は、近所に住む学生が彼女へのプロポーズのための食卓を用意したい、という依頼だったそうだ。コロナ禍を経て料理と食卓への注目度と重要度はさらに高まっていきそうだが、器を所有するにも限界がある。今後こういったシェアの形も増えていきそう。

Project Details

1. Type of Business : Tableware equipment hire, showroom
2. Open Date: 18/04/2019
3. Location: Hohenstaufenstrasse 5, 10781 Berlin
4. Size: 50 qm
5. Interior design: Jean-Philippe Reineau

LocationMap





店の中心にあるのは、マホガニーの大きな食器棚をイメージした棚。オーナーが自分で設計して作ったもの。テーブルもハンドメイドだ。子どもの頃、祖母の家で家族で大きな食卓を囲むのが大好きだったというオーナー。ヴィンテージの器が好きになったのはその影響だそうだ。





アールヌーヴォーの空間をイメージし、暖炉を模した飾り棚。



モダンな家具とアンティークの器が居心地よく同居している。



2. GOLVET

Project Overview

ももとは人気のクラブだった物件をレストラン&バーに改装した「GOLVET」。ミシュラン一つ星を持つ店は、富士山を模したとも噂されるヘルムート・ヤーンが手掛けたソニーセンターや、ハンス・シャロウンのベルリンフィルといった夜景が美しい新建築が集まるエリアに立つ建物の最上階という立地を生かして、客席は全てベルリンの街を一望できる窓に面するようにつくりになっている。入り口のドアは小さく、それを開けると、まず目の前にバーが現れる。バーの横を歩いてオープンキッチンを見ながらテーブルに着く。客席の中央にある柱や天井も低く、少しいレギュラーな空間を細かく分割された窓枠のリズムを他の場所にも呼応させることで、閉塞感を感じさせない独特の魅力を持つ空間へと昇華させた。

バーの奥にあるチルアウトスペースは、若いストリートアーティストたちにデザインを依頼した。

プレス担当はこう言う。「この店があるポツダム通り周辺は、19世紀初頭から芸術家たちを招いてのサロン文化が盛んだった地域。私たちの店もその頃のように、アートとグルメ、文化のハーモニーを奏でる場所になれば」

Project Details

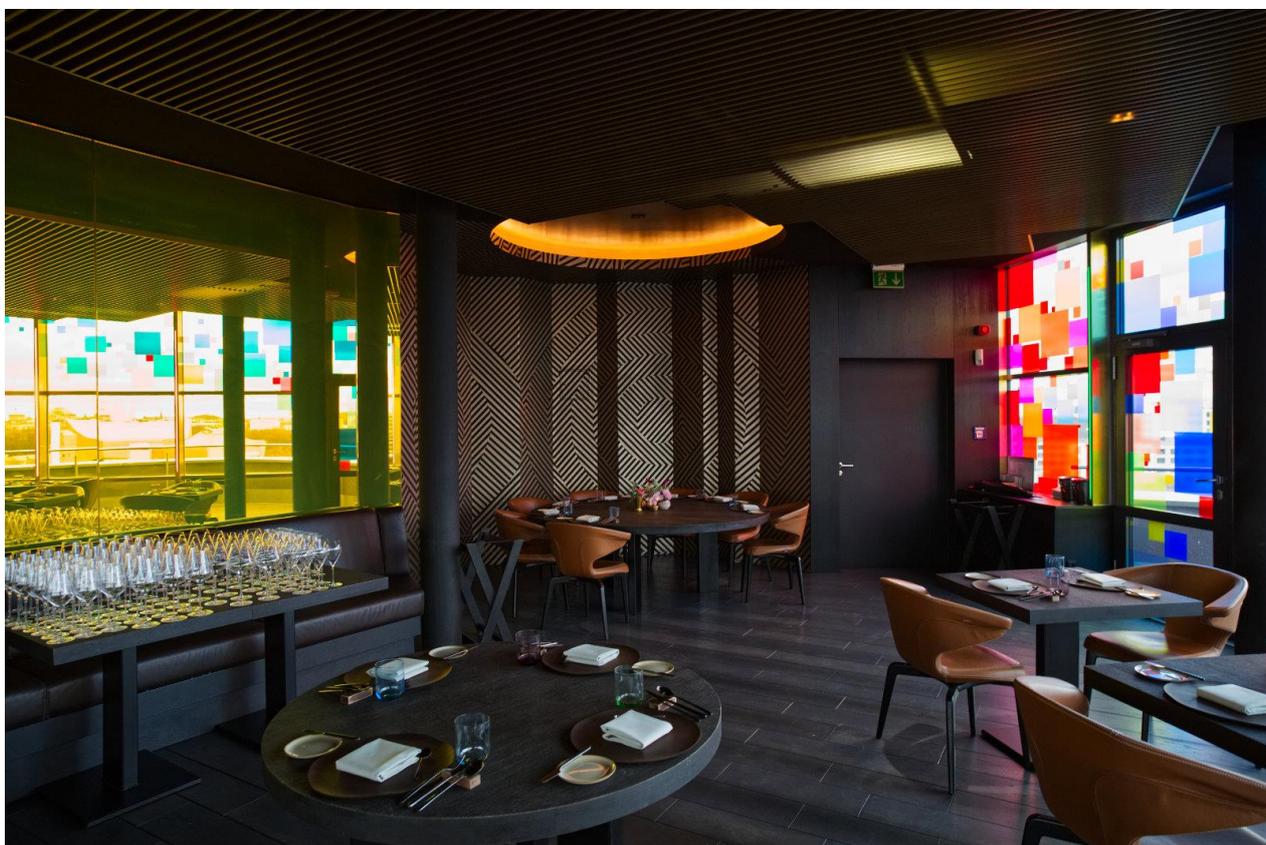
1. Type of Business : Restaurant
2. Open Date: 12/05/2017
3. Location: Potsdamer Strasse 58, 10785 Berlin
4. Size: 500 qm
5. Interior Design: Ippolito Fleitz Group

Location Map





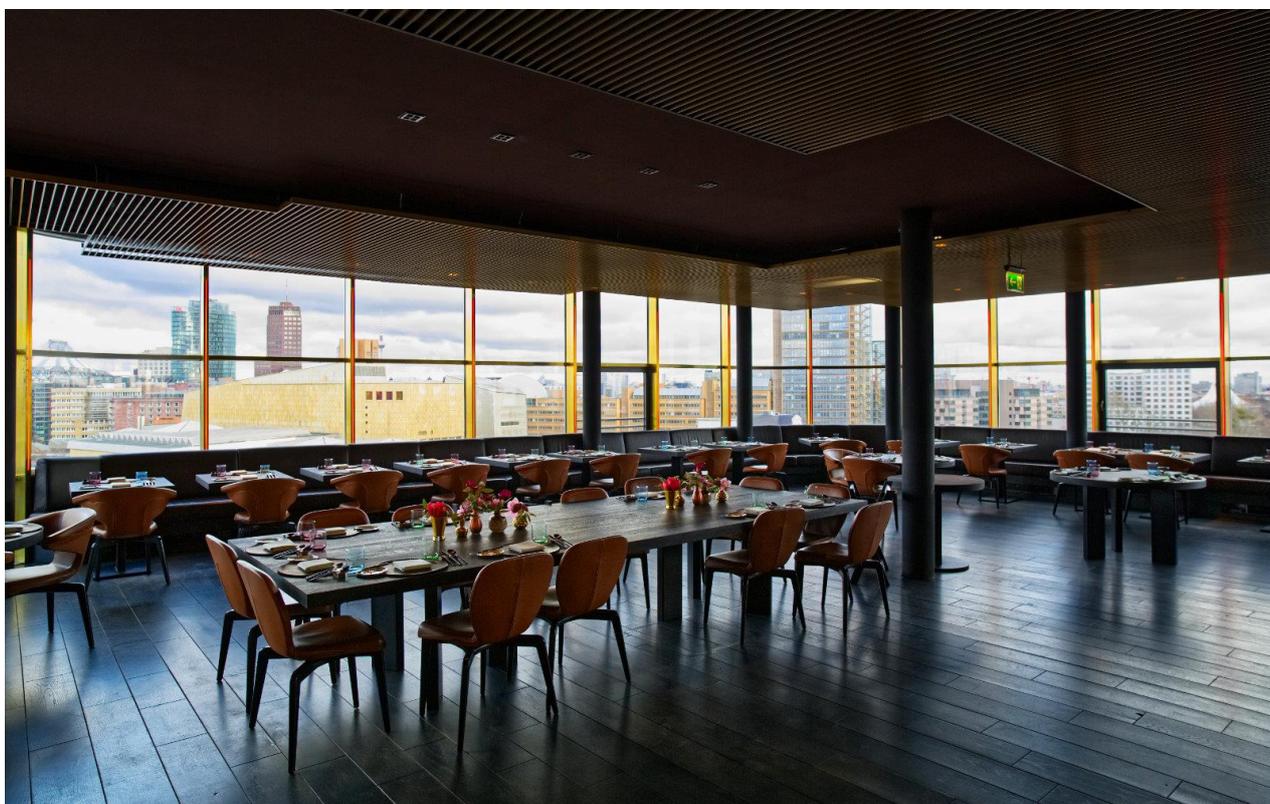
地上 32 メートルのところにある GOLVET からの景色は最高。以前は 40Seconds というクラブがあり、いまもルーフトップバーとして夏場はパーティなどに貸し出されることも。窓枠には照明が埋め込まれている。



壁や窓のアートは、ドイツを中心に世界中のアーティストに依頼。



ベルリンに拠点を置くグラフィックアーティスト GOGOPLATA が作った大きなフィギュアが入り口の前でお出迎え。



黒をベースにしたインテリアだが自然素材なので冷たさを感じない。床はフローリング、テーブルも分厚い素材感の強い木製を採用。椅子はミュンヘンの家具ブランド「ClassiCon」のために、ベルリンの建築家ザウアーブルッフ・ハットンがデザインした滑らかな革素材の座りやすくモダンなものを選んだ。